

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月5日
【四半期会計期間】	第18期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社カービュー
【英訳名】	Carview Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 兵頭 裕
【本店の所在の場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03（5859）6190
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大塚 博康
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号
【電話番号】	03（5859）6190
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 大塚 博康
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第17期 第2四半期 連結累計期間	第18期 第2四半期 連結累計期間	第17期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円) (第2四半期連結会計期間)	2,287,366 (1,133,759)	1,813,130 (921,301)	4,444,656
経常利益(千円)	98,466	234,490	216,806
四半期(当期)純利益(千円) (第2四半期連結会計期間)	71,679 (64,277)	61,547 (52,227)	98,772
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	71,679	63,363	100,661
純資産額(千円)	5,495,195	4,997,544	5,524,177
総資産額(千円)	6,992,442	6,685,378	6,992,117
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) (第2四半期連結会計期間)	5.67 (5.09)	5.00 (4.27)	7.82
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	5.67	4.99	7.82
自己資本比率(%)	78.6	74.7	79.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	380,667	371,756	555,590
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	177,432	57,468	377,094
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	94,421	594,522	94,530
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高(千円)	5,682,324	5,390,346	5,665,216

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 四半期連結財務諸表規則第64条第3項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

4. 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式の株を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

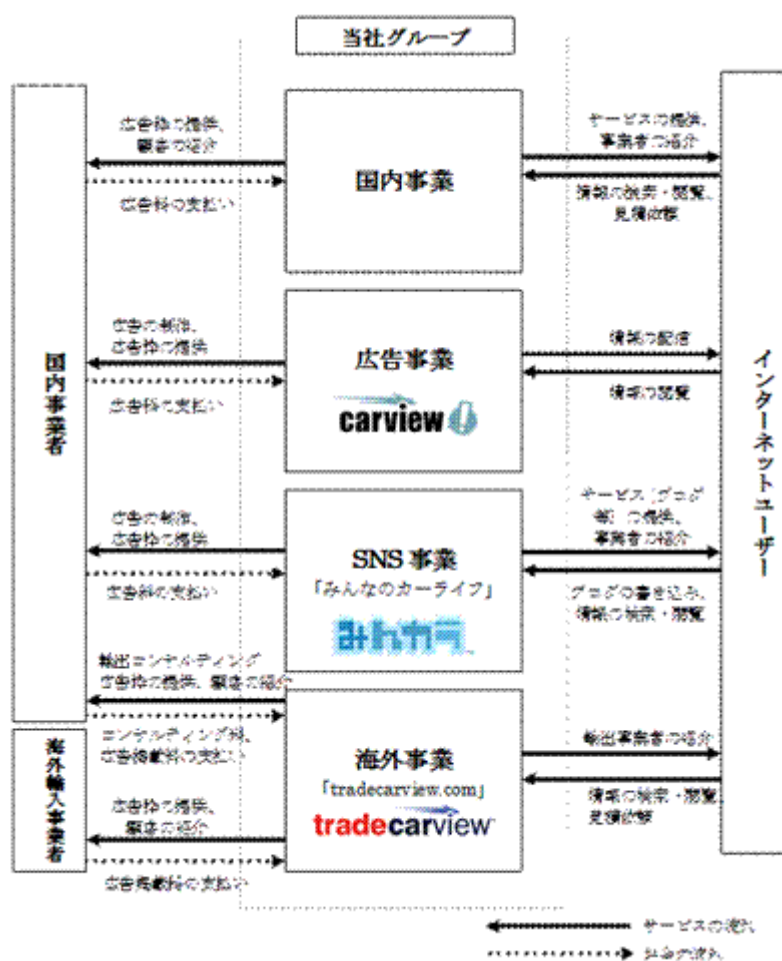
## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありませんが、従前広告事業で運営をしておりました自動車総合ウェブサイト「carview.co.jp」は、平成25年6月6日付でヤフー株式会社の運営していた「Yahoo! 自動車」と統合、「carview!」としてリニューアルし、ヤフー株式会社のドメイン（carview.yahoo.co.jp）上での展開を開始しております。平成25年6月6日以降の事業の種類及び活動は以下の通りであります。

### （1）セグメント及び事業内容

事業区分	事業内容
国内事業	国内の自動車流通に関わる広告掲載サービス及びそれらに付随して提供されるサービス ・「中古車査定仲介サービス」における情報提供
広告事業	自動車総合ウェブサイト「carview!」の運営と広告の企画・制作・販売 ・各種インターネット広告
SNS事業	自動車関連SNS「みんなのカーライフ（みんなカラ）」の運営と広告の企画・制作・販売 ・自動車関連事業者向けブログ等の提供「みんなカラ+（プラス）」 ・その他の各種インターネット広告
海外事業	中古車輸出入支援ウェブサイト「tradecarview.com」の運営と広告の企画・制作・販売及び輸出入に関する各種サポートサービス ・トレードカービュー車両掲載サービス ・収納代行サービス「PayTrade」 ・中古車輸出手続きに関するコンサルティング

### （2）事業の系統図



「carview!」はヤフー株式会社と株式会社カービューが運営するウェブサイトです。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は1,813,130千円（前年同四半期比20.7%減）、営業利益は222,462千円（前年同四半期比146.0%増）、経常利益234,490千円（前年同四半期比138.1%増）、四半期純利益は61,547千円（前年同四半期比14.1%減）となりました。

売上高については、国内事業において査定仲介サービスの利用ユーザーの集客活動を抑制したことにより、前年同四半期比で大きく減少しましたが、海外事業、広告事業は堅調に推移しました。営業利益及び経常利益は国内事業の利益構造の改善とヤフー株式会社との連携開始により増加し、回復傾向にあります。なお、四半期純利益につきましては、当社大阪支社閉鎖に係る費用等により、特別損失92,379千円の計上をしております。

セグメントの業績は以下の通りであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より、より戦略的・機動的な経営資源の活用と効率的な事業運営体制の構築を目的に組織変更を行いました。この変更に伴い、各事業セグメントの業績をより的確に把握すべく、各事業セグメントの損益の測定方法を変更しております。なお、前年同四半期実績についても変更後の測定方法に基づいて計算した上で、増減を記載しております。

#### （国内事業）

国内事業は、主要サービスである「中古車査定仲介サービス」における媒体間の競争激化も継続していることから、集客活動を抑制し、利益の確保とともに配信情報の質の向上に努めました。当第2四半期連結累計期間における利用ユーザー数は84千人（前年同四半期比51.8%減）となり、紹介事業者のカバーエリアの拡大促進活動が奏功しつつも売上高は大幅に減少しました。その一方で、利用ユーザーを獲得するコストの効率化により、利益は改善しました。

その結果、売上高は488,726千円（前年同四半期比59.4%減）、セグメント利益は58,806千円（前年同四半期比419.9%増）となり大きく改善しました。

#### （広告事業）

広告事業は、ヤフー株式会社との「carview!」開始による広告枠の増加・商品の拡充が、安定的な収益基盤を構築、特にディスプレイ広告の売上増加が、売上・利益の増加に大きく貢献しました。

その結果、売上高は215,018千円（前年同四半期比41.0%増）、セグメント利益は52,787千円（前年同四半期比744.5%増）となりました。

#### （SNS事業）

SNS事業は、ヤフー株式会社との連携により、広告枠や集客チャネルが増加し収入基盤が拡大しました。一方で主力サービスである「みんカラ+（プラス）」の利用事業者数が伸び悩み、売上高は301,792千円（前年同四半期比1.2%減）となりました。しかしながら、広告宣伝費等の抑制による販売費及び一般管理費の減少により9,574千円のセグメント損失の計上にとどまりました（前年同四半期は11,183千円のセグメント損失の計上）。

#### （海外事業）

海外事業は、収納代行サービス「PayTrade」が引き続き売上高の増加に寄与しました。その結果、売上高は817,500千円（前年同四半期比21.0%増）、人員の増強とウェブサイトの開発・運営費用等の増加により販売費及び一般管理費が増加しましたが、セグメント利益は256,976千円（前年同四半期比23.9%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、5,390,346千円(前年同四半期比291,978千円減)となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、次のとおりであります。

(営業活動のキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、371,756千円(前年同四半期比8,911千円減)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益142,110千円及び減価償却費88,931千円の計上、預り金の増加85,754千円、大阪支社閉鎖に伴う閉鎖損失52,510千円の計上によるものであります。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、57,468千円(前年同四半期比119,964千円減)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出4,456千円、無形固定資産の取得による支出43,015千円、差入保証金の差入による支出10,000千円によるものであります。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、594,522千円(前年同四半期比500,101千円増)となりました。これは、主に配当金の支払による支出94,558千円及び自己株式の取得による支出513,372千円、新株発行による収入10,033千円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	219,520
計	219,520

(注)平成25年4月25日開催の取締役会決議及び平成25年6月14日開催の第17回定時株主総会における定款変更の承認可決により、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用すると同時に、発行可能株式総数は43,684,480株増加し、43,904,000株となっております。

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月5日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	63,328	12,665,600	東京証券取引所(マザーズ)	(注3)
計	63,328	12,665,600	-	-

(注)1.「提出日現在発行数」欄には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

2.当第2四半期会計期間末日現在の発行済株式総数は63,328株でしたが、平成25年4月25日開催の取締役会決議及び平成25年6月14日開催の第17回定時株主総会における定款変更の承認可決により、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用した結果、発行済株式総数は12,602,272株増加し、12,665,600株となりました。

3.権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。なお、当第2四半期会計期間末日現在、単元株制度は採用していませんでしたが、平成25年4月25日開催の取締役会決議及び平成25年6月14日開催の第17回定時株主総会における定款変更の承認可決により、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しています。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日～平成25年9月30日	158	63,328	5,016	1,577,757	5,016	1,713,919

(注)1.新株予約権の行使による増加であります。

2.平成25年4月25日開催の取締役会決議及び平成25年6月14日開催の第17回定時株主総会における定款変更の承認可決により、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用すると同時に、発行済株式総数は12,602,272株増加し、12,665,600株となっております。

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
ヤフー株式会社	東京都港区赤坂9丁目7番1号	32,954	52.0
ノーザン トラスト カ ンパニー(エイブイエフ シー)サブ アカウ ント アメリカン クライ アント(常任代理人 香 港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3丁目11番1号)	13,592	21.5
株式会社カービュー	東京都中央区晴海1丁目8番10号	2,097	3.3
RBC IST LONDON-CLIENTS ACCOUNT(常任代理人 シ ティバンク銀行株式会 社)	7TH FLOOR, 155 WELLINGTON STREET WEST TORONTO, ONTARIO, CANADA, M5V 3L3 (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	1,818	2.9
菊池 三郎	神奈川県横浜市栄区	1,624	2.6
松本 基	東京都三鷹市	800	1.3
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	699	1.1
金子 昭一	東京都中央区	400	0.6
野崎 俊哉	神奈川県横浜市港北区	295	0.5
カービュー社員持株会	東京都中央区晴海1丁目8番10号	223	0.3
計	-	54,502	86.1

(注) マイクロソフト コーポレーションから、平成19年6月15日付の大量保有報告書の写しの送付があり、6,796株を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、マイクロソフト コーポレーションの大量保有報告書の写しの内容は以下のとおりであります。

大量保有者	マイクロソフト コーポレーション (Microsoft Corporation)
住所	アメリカ合衆国98052-6399 ワシントン州レッドモンド ワン マイクロソフト ウェイ (One Microsoft Way, Redmond, Washington 98052-6399, U.S.A.)
保有株券等の数	株式 6,796株
株券等の保有割合	22.7%

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,097	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 61,231	61,231	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	63,328	-	-
総株主の議決権	-	61,231	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社カービュー	東京都中央区晴海 1丁目8番10号	2,097	-	2,097	3.3
計	-	2,097	-	2,097	3.3

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第64条第3項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,665,216	5,390,346
売掛金	323,364	370,949
仕掛品	4,501	23
前払費用	146,134	83,852
繰延税金資産	71,857	51,419
その他	56,350	137,328
貸倒引当金	35,708	30,336
流動資産合計	6,231,715	6,003,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	80,514	54,454
工具、器具及び備品(純額)	164,445	110,928
その他(純額)	2,089	2,268
有形固定資産合計	247,050	167,651
無形固定資産		
商標権	35,951	33,803
ソフトウェア	305,618	290,697
その他	6,900	7,049
無形固定資産合計	348,470	331,550
投資その他の資産		
繰延税金資産	33,085	40,363
差入保証金	131,796	142,229
投資その他の資産合計	164,881	182,592
固定資産合計	760,402	681,795
資産合計	6,992,117	6,685,378

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	92,058	86,714
未払金	213,965	261,925
未払費用	85,489	76,719
未払法人税等	17,191	63,547
未払消費税等	-	30,993
賞与引当金	-	12,000
役員賞与引当金	-	9,000
資産除去債務	-	11,500
預り金	933,415	1,020,837
その他	86,734	84,267
流動負債合計	1,428,855	1,657,505
固定負債		
資産除去債務	39,085	30,329
固定負債合計	39,085	30,329
負債合計	1,467,940	1,687,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,572,741	1,577,757
資本剰余金	1,708,903	1,713,919
利益剰余金	2,240,643	2,208,729
自己株式	-	509,944
株主資本合計	5,522,288	4,990,461
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,889	3,706
その他の包括利益累計額合計	1,889	3,706
新株予約権	-	3,375
純資産合計	5,524,177	4,997,544
負債純資産合計	6,992,117	6,685,378

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,287,366	1,813,130
売上原価	1,017,646	395,642
売上総利益	1,269,720	1,417,487
販売費及び一般管理費	1,179,299	1,195,024
営業利益	90,420	222,462
営業外収益		
受取利息	2,719	2,307
為替差益	-	5,258
違約金収入	2,155	3,182
還付消費税等	2,935	3,122
その他	1,840	1,653
営業外収益合計	9,651	15,524
営業外費用		
為替差損	1,605	-
自己株式取得費用	-	3,427
その他	-	68
営業外費用合計	1,605	3,496
経常利益	98,466	234,490
特別損失		
固定資産売却損	-	4,441
固定資産除却損	-	5,417
減損損失	-	30,009
支社閉鎖損失	-	52,510
特別損失合計	-	92,379
税金等調整前四半期純利益	98,466	142,110
法人税、住民税及び事業税	13,433	67,403
法人税等調整額	13,353	13,160
法人税等合計	26,786	80,563
少数株主損益調整前四半期純利益	71,679	61,547
四半期純利益	71,679	61,547

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,679	61,547
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	1,816
その他の包括利益合計	-	1,816
四半期包括利益	71,679	63,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,679	63,363

【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,133,759	921,301
売上原価	461,471	192,833
売上総利益	672,288	728,467
販売費及び一般管理費	587,325	584,195
営業利益	84,962	144,271
営業外収益		
受取利息	1,655	1,054
違約金収入	939	2,209
その他	960	812
営業外収益合計	3,554	4,076
営業外費用		
為替差損	708	635
その他	-	68
営業外費用合計	708	704
経常利益	87,809	147,643
特別損失		
固定資産売却損	-	2,712
固定資産除却損	-	1,247
支社閉鎖損失	-	44,482
特別損失合計	-	48,442
税金等調整前四半期純利益	87,809	99,201
法人税、住民税及び事業税	11,935	56,026
法人税等調整額	11,596	9,052
法人税等合計	23,531	46,974
少数株主損益調整前四半期純利益	64,277	52,227
四半期純利益	64,277	52,227

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	64,277	52,227
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	1,072
その他の包括利益合計	-	1,072
四半期包括利益	64,277	51,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,277	51,155

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	98,466	142,110
減価償却費	70,285	88,931
減損損失	-	30,009
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,016	19,739
受取利息及び受取配当金	2,719	2,307
為替差損益(は益)	1,605	2,191
賞与引当金の増減額(は減少)	-	12,000
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	9,000
固定資産売却損益(は益)	-	4,441
固定資産除却損	-	5,417
支社閉鎖損失	-	52,510
売上債権の増減額(は増加)	187,483	33,217
たな卸資産の増減額(は増加)	768	4,477
未収消費税等の増減額(は増加)	-	16,754
その他の資産の増減額(は増加)	23,453	32,679
仕入債務の増減額(は減少)	107,054	5,344
未払金の増減額(は減少)	29,258	51,581
未払消費税等の増減額(は減少)	32,668	30,993
預り金の増減額(は減少)	136,758	85,754
その他の負債の増減額(は減少)	13,133	54,769
その他	-	3,447
小計	384,486	391,563
利息及び配当金の受取額	2,155	1,777
法人税等の支払額	5,974	21,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	380,667	371,756
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	56,045	4,456
有形固定資産の売却による収入	-	3
無形固定資産の取得による支出	121,386	43,015
差入保証金の差入による支出	-	10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	177,432	57,468
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	-	10,033
自己株式の取得による支出	-	513,372
配当金の支払額	94,421	94,558
新株予約権の発行による収入	-	3,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	94,421	594,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,605	5,363
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	107,208	274,870



(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び現金同等物の期首残高	5,575,116	5,665,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,682,324	5,390,346

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
破産更生債権等	63,440千円	49,073千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	300,314千円	339,487千円
貸倒引当金繰入額	17,601	10,329
賞与引当金繰入額	-	12,000
役員賞与引当金繰入額	-	9,000

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
給与手当	149,542千円	168,203千円
貸倒引当金繰入額	7,405	7,194
賞与引当金繰入額	-	12,000
役員賞与引当金繰入額	-	9,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	5,682,324千円	5,390,346千円
現金及び現金同等物	5,682,324	5,390,346

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月15日 定時株主総会	普通株式	94,755	1,500	平成24年3月31日	平成24年6月18日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月14日 定時株主総会	普通株式	94,755	1,500	平成25年3月31日	平成25年6月17日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年4月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,097株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式509,944千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が509,944千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	国内事業	広告事業	SNS事業	海外事業	
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,204,612	130,196	301,085	651,471	2,287,366
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	22,258	4,425	24,200	50,883
計	1,204,612	152,455	305,511	675,671	2,338,250
セグメント利益又は損失( )	11,310	6,251	11,183	207,413	213,791

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	213,791
全社費用(注)	123,371
四半期連結損益計算書の営業利益	90,420

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	国内事業	広告事業	SNS事業	海外事業	
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	488,726	208,549	298,352	817,500	1,813,130
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	6,468	3,440	-	9,908
計	488,726	215,018	301,792	817,500	1,823,038
セグメント利益又は損失( )	58,806	52,787	9,574	256,976	358,995

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	358,995
全社費用(注)	136,533
四半期連結損益計算書の営業利益	222,462

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の重要な変更)

当第2四半期連結累計期間より、組織変更を行ったことに伴い、各事業セグメントの業績をよりの確に把握すべく各事業セグメントの損益の測定方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の売上高が、それぞれ「国内事業」で64,357千円増加しており、「海外事業」で64,357千円減少しております。

また、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益においても、それぞれ「国内事業」で40,098千円増加しており、「広告事業」で18,953千円、「SNS事業」で28,191千円、「海外事業」で122,981千円減少しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失においても、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

大阪支社閉鎖の決定に伴い、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を認識するに至りました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、30,009千円であります。

前第2四半期連結会計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	国内事業	広告事業	SNS事業	海外事業	
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	573,414	52,101	154,702	353,539	1,133,759
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	12,355	2,792	11,500	26,647
計	573,414	64,456	157,494	365,039	1,160,406
セグメント利益又は損失( )	34,902	2,842	6,414	111,791	150,265

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	150,265
全社費用(注)	65,302
四半期連結損益計算書の営業利益	84,962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	国内事業	広告事業	SNS事業	海外事業	
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	260,322	107,391	155,941	397,645	921,301
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	2,080	1,506	-	3,587
計	260,322	109,471	157,448	397,645	924,888
セグメント利益	43,331	34,775	8,899	127,981	214,988

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	214,988
全社費用（注）	70,716
四半期連結損益計算書の営業利益	144,271

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（報告セグメントの利益又は損失の算定方法の重要な変更）

当第2四半期連結会計期間より、組織変更を行ったことに伴い、各事業セグメントの業績をよりの確に把握すべく各事業セグメントの損益の測定方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結会計期間の売上高が、それぞれ「国内事業」で31,643千円増加しており、「海外事業」で31,643千円減少しております。

また、当第2四半期連結会計期間のセグメント利益においても、それぞれ「国内事業」で17,561千円増加しており、「広告事業」で9,001千円、「SNS事業」で12,233千円、「海外事業」で60,125千円減少しております。

なお、前第2四半期連結会計期間のセグメント利益又は損失においても、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	5円67銭	5円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	71,679	61,547
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	71,679	61,547
普通株式の期中平均株式数(株)	12,634,000	12,319,000
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	5円67銭	4円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	3,857	17,172
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式の数を100株とす

る単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	5円09銭	4円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	64,277	52,227
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	64,277	52,227
普通株式の期中平均株式数(株)	12,634,000	12,227,600
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	5円09銭	4円27銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	1,664	3,747
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株を200株に分割し、1単元の株式の数を100株とす

る単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しています。



(重要な後発事象)

株式の分割及び単元株制度の採用

平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨及び当社の成長性に鑑み、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を図るため、平成25年10月1日を効力発生日として、当社の株式を1株につき200株の割合で分割するとともに、100株を1単元とする単元株制度を採用しております。

なお、これによる影響については、注記事項「1株当たり情報」に記載しております。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月1日

株式会社カービュー

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 向 眞生 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 嶋原 泰貴 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カービューの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カービュー及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。